



北のクラフトフェア MORIOKA 2025

10月11日(土)・12日(日)

会場：岩手公園（盛岡城跡公園）芝生広場

応募要項

応募条件：

- ・原則として個人の方（グループ展的な参加は不可。会社組織の場合も、自分の作品として主体性を持った**代表者の個人名でエントリーのこと**）
- ・本人が制作したオリジナル作品であること（仕入れ品や預かり品の出品は不可）
- ・会期中、屋外の会場で自らのブースを管理し、搬入、搬出を行うことが可能な方
- ・受注販売（靴など）も可とするが、見本のみ展示は不可。当日販売品もある程度の数を用意できる方

出展料：※出展場所は事前にクジ引きで決定します。抽選の様子はインスタライブで配信予定

- ・選考料 3,000円（返却はいたしません）
※選考委員による総評をメールにてお送りいたします（個々の作品評ではありません）。
- ・出展料（二日間） 24,000円

応募期間：

- ・web エントリー締め切り **2025年4月3日（木） 17:00**
- ・選考用シート郵送締め切り 同日（当日消印有効）

募集数：

クラフト部門／130ブース（**1ブース3×3m程度の予定**）

結果発表：

- ・5月上旬にメールにて通知します。※メールが無い方にはファクスまたは郵送いたします
※パソコンから一斉メールしますので、entry@kitanocraft.comを受信できるように設定をお願いします
- ・選考に通られた方は5月30日（金）までに出品料をお振込ください。入金確認をもって出展確定となります。 ※出展キャンセルや荒天による中止の場合も返金はできません。

レンタルテントについて：20ブース程度

- ・希望の方はweb エントリーの際、「テントレンタル希望」欄にチェックしてください。
- ・希望多数の場合は遠方の方を優先とさせていただきます。くじ引きになる場合もあります。
- ・レンタル料（予定） テント／33,000円
大きさ3×3m、横幕付き、設営費込み、テーブル（1800×450mm）2台付き

三谷龍二

木工デザイナー。陶磁器のような普段使いの木の器を作り、それまで家具中心だった木工に、新たな分野を開く。また、漆では、赤と黒の伝統色に「白漆」を加え、現代の暮らしに合う漆器の世界を作る。他に、日常から拾い上げた親密性の高い絵画や立体作品も制作する。木の器展多数。1985年より「クラフトフェアまつもと」（松本市）発足より運営に参加。「瀬戸内生活工芸祭」「六九クラフトストリート」など、「工芸と暮らしを結ぶ」活動を続ける。2011年 松本市内にギャラリー 10cm を開店。



photo/Hua Wang

F/style 五十嵐恵美・星野若菜

五十嵐恵美 1978年、星野若菜 1979年、ともに新潟生まれ。東北芸術工科大学を卒業した2001年春、地元新潟にて「エフスタイル」を開設。「製造以外で商品が流通するまでに必要なことはすべてやってみること」をモットーに、デザイン提案から販路の開拓まで一貫して請け負う。主な仕事は、山形の月山綴通とのコラボレートによるマットシリーズや、新潟の伝統工芸品シナ織りのバッグ等。伝統産業と「今」を結び、使い手へと商品を届けている。



Photo/Kentaro Kase

日野明子

ひとり問屋。1967年神奈川県生まれ。共立女子大学家政学部生活美術学科在学中に教授であった秋岡芳夫氏の影響を受ける。松屋商事（株）（百貨店松屋子会社・1998年に解散）にて北欧テーブルウェアおよび国内クラフト／工芸品の営業を経て、1999年独立、スタジオ木瓜を設立。一人で問屋業を始める。ショップと作家・産地をつなぐ問屋業を中心に、テーブルウェアを主体とした生活に関わる日本の手仕事・地場産業の展示会や企画協力、アドバイスを行う。



＋ 北のクラフトフェア 実行委員会

スーパーバイザー／皆川明

デザイナー。1995年にブランドminä perhonen（2003年まではminä）設立。手作業で描かれた図案から作るオリジナルファブリックによるファッション、インテリア等で注目を集める。ストーリー性のあるデザインと、産地ごとの作り手の個性を活かした、長く愛用されるものづくりを目指す姿勢はブランド設立時から一貫している。個人の活動として、国内外の様々なブランドとデザインを通じての協業を精力的に続ける他、新聞や書籍への挿画、宿のディレクションなど活動は多岐にわたる。



photo/Shoji Onuma

応募方法：

- ① web エントリー ※できない場合はエントリー番号無しで③へ
- ② 自動返信にてエントリー番号が送られてくる
- ③ **名義人名+エントリー番号で、選考料 3,000 円を振り込む** (4/3 まで)
- ④ 選考会用シートを郵送 ※4/3 消印有効
- ⑤ 選考結果がメール (または fax) で送られてくる (5 月上旬)
- ⑥ **名義人名+エントリー番号で出展料 24,000 円を振り込む** (5/30 まで)
- ⑥ 申し込み完了・出展の準備開始です！

**実行委員会は
エントリー番号で
事務処理しています！**

お名前を探すのが
何かと大変なので、
ご連絡の際はエントリー番号
明記をお願いします

◆まずは公式 web サイト (<https://kitanocraft.com>) よりエントリー

エントリーフォームを記入し送信すると、自動返信で受付番号が届きます。2 回送信しないようご注意ください。

(web 環境が無い方は、郵送専用の選考会用シートを記入・郵送してください。
エントリー番号はのちほどお知らせします)

公式サイトはこちら▼



◆振込み先 (ゆうちょ銀行)

名義人名は、**必ず事務局連絡用の代表者名と同一名義**としてください。**エントリー番号を忘れずに。**

口座番号：00170-0-792874

口座名義：北のクラフトフェア 実行委員会

また、郵便局以外の金融機関からお振込の場合は、下記によりお願いします。

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇一九 (ゼロイチキュウ) 店

預金種目・番号：当座 0792874

口座名義：北のクラフトフェア 実行委員会

◆応募書類の送付

印刷した選考会シートに必要な事項を記入の上、事務局あて (送付先下記) にお送りください。送付には A4 サイズの応募用紙が折らずに入る角 2 型の封筒をお使いください。書類が届いた時点で申し込み完了となります。**作品の実物を貼り付けたり同封しないでください (実行委員会で処分します)**。
また、追加資料の添付、用紙の裏面使用、プリント写真を重ねて貼り付けなどは NG です。

送付先／

〒020-0874 岩手県盛岡市南大通 1-1-17
(株) クラシカウンシル内
北のクラフトフェア 事務局 宛

封筒に貼り付けてお使いください

北のクラフトフェア MORIOKA 2025 概要

日程：10月11日(土)・12日(日)

会場：岩手公園（盛岡城跡公園）芝生広場

岩手県盛岡市内丸1番37号/JR盛岡駅より、徒歩15分

江戸時代、南部藩の城下町として栄えた南部盛岡の不来方城を公園として今に至っています。関東以北の石垣組の平城としては、最大の規模を誇り、公園の中には、石川啄木がよんだ「不来方（こずかた）のお城の草に寝ころびて 空に吸はれし 十五の心」の歌碑があります。



今年はこれまでと違う、ちょっと変則的なスケジュールです！ご注意ください

(トークについて/会場のホールが補修工事に入るかもしれないとのこと。時期未定のため予定が変更となる場合もあります。ご了承ください)

10日(金)

14:00-16:00 事前テント設置希望者 作業可能時間

18:00 前夜祭ライブ(企画中・詳細未定)

11日(土)

7:00 搬入開始

10:00 クラフトフェア初日開場

16:00 初日閉場

17:45 出展作家懇親会開宴

12日(日)

9:00 2日目開場

13:30 選考委員によるトークセッション

※出展者には後日、無料で録画配信予定

16:00 クラフトフェア閉場/撤収開始

18:00 公園口の車両通行閉鎖



参考/昨年のブース配置

※最新情報は公式サイトをご覧ください <https://kitanocraft.com>

主催：北のクラフトフェア 実行委員会

後援：(株)ミナ、manorda いわて(株)、盛岡市肴町商店街振興組合 ほか